

静電気試験器 修理対応状況と後継器のご案内

お客さまに長年にわたりご使用いただいております静電気試験器は、現在、モデルを一新して販売をさせていただいております。弊社製品の修理メンテナンスは、製品保証規定により納入後満8年、および販売終了後満5年をもちまして修理対応を終了させていただいており、以降は修理辞退品としてお断りさせていただく場合がございます。下記に、静電気試験器および放電ガンの保守（修理）対応状況および後継器をご案内させていただきます。

【修理対応状況および予定時期:静電気試験器本体】※1 ※2

モデル名	販売状況	修理対応状況
ESS-630 series	1989年終了	終了
ESS-200AX	1999年終了	
ESS-100L	1997年終了	
ESS-100LA	2000年終了	
ESS-2000 / 2002	2009年終了	
ESS-2001	2002年終了	
ESS-2000AX	2013年終了	
ESS-2002EX	2011年終了	
ESS-S3011 / B3011	2016年終了	
ESS-B3011A	2024年終了	
ESS-S3011A (現行モデル)	販売中	対応中 ※2
ESS-PS1 (現行モデル)		

※1 修理対応状況は2025年9月時点での情報です。

※2 定額修理対象製品です。

【修理対応状況および予定時期:放電ガン】※1 ※2

モデル名	販売状況	修理対応状況
TC-815C	1995年終了	終了
TC-815D	2000年終了	
TC-815D(F)	1999年終了	
TC-815ISO	2009年終了	
TC-815P	2004年終了	
TC-815R / 815-330/2K	2014年終了	
TC-815RE2 / 815S	2015年終了	
GT-30R	2016年終了	
GT-30R2K / 30R330 / 30R3302K	2016年終了	
GT-30RA / 30R3302KA	2025年終了	
GT-30RB / 30R3302KB (現行モデル)	販売中	対応中 ※2
GT-31S (現行モデル)		

※1 修理対応状況は2025年9月時点での情報です。

※2 定額修理対象製品です。

【静電気試験器Ed.1校正終了のお知らせ】

静電気試験器IEC 61000-4-2 Ed.1及びISO 10605 Ed.1の両規格は、2008年にEd.2に改訂されております。測定に使用する標準器の老朽化が進んでおり、また対象モデルのサービスサポートも終了している状況から、引き続き良好なサービス継続が困難な状況です。よって、2022年12月末日をもちまして、IEC 61000-4-2 Ed.1及びISO 10605 Ed.1の校正受付を終了いたしました。



ESS-630A



ESS-200AX



ESS-100L



ESS-2000



ESS-2001/2002



ESS-2000AX/2002EX

修理対応が終了している静電気試験器および放電ガンをお持ちのお客さまは、後継器（現行機種）への買換えのご検討をお願いします。

後継器（現行機種）については裏ページをご覧ください。

”測る”をもっとスマートに 最新規格Ed.3準拠&プリチェック機能搭載で信頼性アップ 後継器（現行機種）のご案内

静電気試験器

ESS-PS1 & GT-31S（放電ガン）

静電気試験をもっと手軽に

- IEC 61000-4-2 Ed.2 Ed.3 / ISO 10605 Ed.3規格準拠試験器
- 放電ガンにタッチパネルを搭載し操作性が向上
- バッテリー駆動により可搬性が向上し、大型機器などへの試験が便利
- 試験を確実に実施するためのプリチェック機能（始業前点検）を搭載



放電ガンにタッチパネルを搭載 わかりやすい操作画面！



本体はバッテリー駆動 持ち運びに便利！



静電気試験器

ESS-S3011A & GT-30RB（放電ガン）

放電ガンの軽量化により試験の負担を軽減

- IEC 61000-4-2 Ed.2 Ed.3 / ISO 10605 Ed.3規格準拠試験器
- 試験を確実に実施するためのプリチェック機能（始業前点検）を搭載
- 長時間の試験をもっとラクに『業界最軽量級の放電ガン』（当社調べ）

より確実な試験を実現 プリチェック機能を搭載



【チェック 1】 高圧電源出力チェック：設定値との誤差を確認します。
【チェック 2】 絶縁不良チェック：絶縁耐圧の不良を確認します。
付属のガンホルダーに放電ガンを置くことと高圧電源の出力チェック
および絶縁不良のチェックを確認することができます。

【チェック 3】 放電リレー動作チェック：リレーの消耗を確認します。
放電ガンをチェック端子に接触させ放電をする事で放電リレーの消耗を確認する
ことができます。

※ 掲載している商品の仕様および外観などは予告なく変更する場合があります。